

9521

株式会社 山寿セラミックス

YAMAJU CERAMICS

事業所名	株式会社 山寿セラミックス	FAX番号	0561-53-5115
代表者名	加藤 寿生	Eメール	mailbox@yamajuceramics.co.jp
所在地	〒488-0012 尾張旭市三郷町角田1123	ホームページ	http://www.yamajuceramics.co.jp
連絡先	0561-53-5111	部会名	ファインセラミックス部会

当社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を深く認識し環境マネジメントシステムを構築し、以下の方針に基づき、地球環境保全に貢献しています。

「光の時代」を切り拓く単結晶の専門メーカーとして、製品開発、製造工程、での環境に与える影響を調査、評価し定期的な見直しを執行し、継続的な改善の推進に努めています。

1. 歩留りの向上、工程改良、クレーム削減、省資源、省エネルギー、廃棄物管理と廃棄物削減に努め、環境に与える影響を考慮し、環境負荷の低減をはかります。
2. 国、地方公共団体の「環境規則及び公害防止協定」との要求事項を順守します。
3. 製品及び材料の有害化学物質の管理は、各国の法規制及びユーザーの要求事項を順守します。
4. 環境方針、環境目的、環境目標を決め実施し、定期的な見直しを行い環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進して汚染の防止に努めます。
5. 全社員の環境活動への理解と啓蒙と行動を促すための環境教育を定期的に計画し実行します。
6. 地域及び社会に対し、開かれた事業所を目指します。

また、長年にわたって培ってまいりました酸化物単結晶製造技術を基盤にして、お客様より信頼と満足を得られる高品質な製品を提供しております。

■製造品目

各種酸化物単結晶・ウェハー

- LiNbO₃(ニオブ酸リチウム 略称LN)
- Black-LN(焦電性改善LN)
- 光学グレードLN(オプト用LN)
- Mg:LN(マグネシウム添加LN)
- Zn:LN(亜鉛添加LN)
- LiTaO₃(タンタル酸リチウム 略称LT)
- Black-LT(焦電性改善LT)
- Black-Yellow-LT(鉄添加焦電性改善LT)
- 光学グレードLT(オプト用LT)
- Mg:LT(マグネシウム添加LT)
- Al₂O₃単結晶(サファイア)

■用途

弾性表面波(S.A.W)フィルター

- 携帯電話(スマートフォン)、ワンセグ用、GPS、ETCゲート受信用、自動車キーレスエントリー、タイヤ空気圧センサー用、衛星放送用

オプト&オプトエレクトロニクスデバイス

- 高級デジタルカメラ用ローパスフィルタ
- DVDピックアップ用 ホログラム素子

- 光通信用 光スイッチ&変調器
- ジャイロセンサー
- ブルーレーザー・グリーンレーザー用SHG素子(プロジェクター、レーザーTV、眼科治療用、環境測定用)

焦電型赤外線センサー

- LED
- SOS (Silicon On Sapphire)

■コア技術

高性能強誘電体酸化物単結晶の製造

- 高品質のLN・LTの育成技術(30年以上の歴史)
- 更なる高機能を追求した単結晶への各種元素のドーピング技術→光用、SAWデバイス用、センサ等のエレクトロニクスデバイス用
- 酸化還元処理技術(焦電性抑制技術)
- LN・LTウェハーの高平坦研磨加工技術

高融点酸化物単結晶育成技術

- LED、SOS用サファイア育成技術

- 1925(大正14年) 瀬戸市に於いて加藤寿保が陶磁器輸出業を創業
- 1935(昭和10年) 本社(尾張旭市)に新工場を建設し、原料・製造・画付工程等の陶磁器生産一貫体制を整え、東南アジア向け輸出の拡大をはかる
- 1938(昭和13年) 合資会社 山寿商店に組織変更する
- 1942(昭和17年) 太平洋戦争突入により日本軍指定の軍需用耐酸瓶を製造
- 1948(昭和23年) 民間貿易再開により陶磁器の製造再開
- 1952(昭和27年) 重油焼成トンネル窯を新設し、業界躍進の先鞭をつける
- 1958(昭和33年) 半磁器質陶器ディナーセットの製造に転換し、アメリカ、カナダ、オーストラリアへの販売に主力を移す
- 1967(昭和42年) 創業者 加藤寿保急逝、加藤寿生 代表社員に就任
- 1969(昭和44年) 本社陶磁器生産ラインの全面的な合理化を行い、量産体制を整える
- 1970(昭和45年) 新規事業のアドバイスを求めNHK技術研究所を訪問
- 1971(昭和46年) 酸化物単結晶事業への進出を決断
- 1972(昭和47年) レーザー発振用YAG単結晶の育成で東北大学の指導を受ける
- 1973(昭和48年) 株式会社 山寿セラミックス(資本金1,000万)を設立し、加藤寿生 代表取締役に就任
- 1974(昭和49年) 瀬戸市へ単結晶研究室を移し、瀬戸工場として操業を開始する
- 1975(昭和50年) 合資会社 山寿商店を吸収合併
- 1975(昭和50年) 通産省工業技術院より重要技術補助金を受ける
題目:「光応用酸化物単結晶の製造に関する応用研究」
- 1976(昭和51年) TV、VTR用のSAWフィルター基板材料であるニオブ酸リチウム単結晶の量産を開始
- 1982(昭和57年) TV、VTR、通信機用のSAWフィルター基板材料であるタンタル酸リチウム単結晶の量産を開始
- 1983(昭和58年) 瀬戸工場の大幅な増設投資を行う
- 1985(昭和60年) 中小企業名古屋投資育成会社により資本の参加を受ける
同時に資本金を増資し、新資本金74,500,000円とする
- 1987(昭和62年) プラザ合意後の円高に対応し陶磁器部門の設備投資を執行し大幅な合理化をはかる
- 1988(昭和63年) ニオブ酸リチウム単結晶育成時に別元素を添加(ドーピング)する技術開発を始める
- 1991(平成3年) 陶磁器部門の生産を中止、陶磁器事業より撤退
- 1998(平成10年) 携帯電話用RF(高周波)フィルター用タンタル酸リチウムウェハーの需要急増のため大幅な増設を3年間にわたり実行する
- 1999(平成11年) 3月 加藤充弥 代表取締役社長就任
- 2000(平成12年) 瀬戸工場に量産工場を新設
- 2003(平成15年) ISO9001取得(瀬戸工場及び本社第一製造部)
- 2006(平成18年) ISO14001取得(瀬戸工場及び本社第一製造部)
- 2010(平成22年) LED、SOS(Silicon On Sapphire)用サファイア単結晶を開発
- 2011(平成23年) 3月 佐橋家隆 代表取締役社長就任
- 2012(平成24年) 9月 セントレア結晶材料研究所及び工場を竣工



瀬戸工場



セントレア結晶材料研究所